



2019年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月14日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL http://www.beauty-kadan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島美佐夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 田口絹子 (TEL) 096-370-0004
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第2四半期の連結業績(2018年7月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	2,953	6.7	△18	—	△12	—	△14	—
2018年6月期第2四半期	2,768	△5.8	20	—	23	—	6	—

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 △14百万円(—%) 2018年6月期第2四半期 6百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	△3.58	—
2018年6月期第2四半期	1.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第2四半期	2,486	546	22.0
2018年6月期	2,282	590	25.9

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 546百万円 2018年6月期 590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	7.11	7.11
2019年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	8.30	8.30

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,110	8.7	179	7.0	167	0.5	112	46.3	27.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規1社 株式会社アグリフラワー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期2Q	5,076,000株	2018年6月期	5,076,000株
② 期末自己株式数	2019年6月期2Q	1,026,552株	2018年6月期	1,026,552株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期2Q	4,049,448株	2018年6月期2Q	4,049,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2018年7月1日から2018年12月31日まで）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、設備投資も増加するなど、緩やかな回復基調で推移したものの、米国の通商政策による貿易摩擦の拡大懸念やEU諸国の政治動向、新興国の景気減速懸念等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、コア事業（生花祭壇事業）での売上拡大、生花卸売事業における物流のサービス強化と高度化、管理部門の体制強化、周辺事業の水平展開等を重点目標とした、2期目となる中期経営計画に基づき、各施策を実行してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、2,953,770千円（前年同期比6.7%増）、営業損失は、主に生花祭壇事業における原価上昇の影響により、18,285千円（前年同期は20,880千円の利益）、経常損失は12,144千円（前年同期は23,192千円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は14,489千円（前年同期は6,882千円の利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、1,640,023千円（前年同期比1.3%増）と、第2四半期連結累計期間としては2期連続で過去最高となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2018年7月から2018年12月までの売上高、取扱件数ともに増加傾向で推移しており、この数年の傾向につきましても、大都市圏を中心として葬儀単価は下落しつつも件数が増加し、売上は拡大している状況です。

このように葬儀業全体では市場は拡大傾向にあり、その中でも上述のとおり特に大都市圏において「家族葬」や「密葬」等葬儀の小型化とともに単価の下落傾向が続いておりましたが、今後は地方都市におきましてもこの傾向が徐々に顕在化してくるものと考えられ、その兆候は一部見え始めております。

このような状況の中で、当事業では、強みである機動力や顧客ニーズへの対応力を活かすべく、関東・四国・九州エリアへ新たに拠点を展開する等、積極的に各施策を実行し、一定の効果が顕在化した労務比率の改善に続き、仕入原価の更なるスリム化等にも取り組んでまいりました。一方で、当期間の前半につきましても、国内における天候不良の影響等による仕入原価の高騰並びに、上述の新規拠点開設に伴うコスト増加の影響もあり、営業利益は214,582千円（前年同期比18.3%減）となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は、連結子会社のマイ・サクセス株式会社において、同社への会社分割・事業承継以来、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っておりましたが、前期後半より奏功の兆しが見えはじめ、当期において顕在化いたしました。

この結果、売上高は923,090千円（前年同期比18.5%増）となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」（2019年1月）によると、2018年7月から2018年12月までの切花累計の取扱金額は30,615百万円（前年同期比0.7%増）、数量では439百万本（前年同期比2.2%減）と金額ベースでは横ばい、数量ベースでは減少の傾向にありました。

このような状況の中で、当事業では前期に引き続き、従来の生花卸売事業（国内流通）と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みにも注力しているものの、当期間の後半において輸入卸売部門における利益率が低調に推移したため、その結果営業利益は6,472千円（前年同期比53.7%減）となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、173,960千円（前年同期比2.0%減）となりました。少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウェディングやレストラン・ウェディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、未だ大きな市場規模が保持されております。このような状況の中、同事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、東京・関西・九州エリアにおける新規顧客獲得と商圏拡大、リテール部門での更なる売上増、及び販管費の圧縮・効率化策を実施しており、一部にその効果は出

はじめ、営業利益は2,149千円(前年同期比327.5%増)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、各事業ともに総じて堅調に推移したため、売上高は216,695千円(前年同期比12.7%増)、営業損失は19,041千円(前年同期は30,292千円の損失)となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。不動産管理事業は、不動産の売買や賃貸等の仲介及び管理を行っております。農業は、花卉の生産・販売を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ204,060千円増加し、2,486,355千円となりました。これは主に、現金及び預金、売掛金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ247,472千円増加し、1,939,693千円となりました。これは主に、短期借入金、買掛金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ43,412千円減少し、546,661千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の連結業績予想につきましては、2018年8月14日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	772,659	874,658
売掛金	559,125	613,577
商品	19,331	23,536
仕掛品	2,518	3,900
原材料及び貯蔵品	29,921	44,435
その他	67,758	49,717
貸倒引当金	△12,338	△10,313
流動資産合計	1,438,976	1,599,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	485,735	521,436
減価償却累計額	△231,820	△241,201
建物及び構築物(純額)	253,914	280,235
車両運搬具	30,548	34,961
減価償却累計額	△20,034	△21,738
車両運搬具(純額)	10,513	13,223
工具、器具及び備品	163,216	174,269
減価償却累計額	△147,209	△142,527
工具、器具及び備品(純額)	16,007	31,741
土地	217,004	232,103
建設仮勘定	7,521	-
その他	11,065	15,042
減価償却累計額	△5,373	△7,278
その他(純額)	5,691	7,763
有形固定資産合計	510,653	565,066
無形固定資産		
のれん	10,626	5,313
その他	50,504	41,195
無形固定資産合計	61,131	46,508
投資その他の資産		
差入保証金	62,239	48,935
繰延税金資産	21,396	26,694
保険積立金	148,972	166,431
破産更生債権等	149,769	30,416
その他	31,978	16,271
貸倒引当金	△142,821	△13,481
投資その他の資産合計	271,534	275,268
固定資産合計	843,319	886,843
資産合計	2,282,295	2,486,355

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	159,065	272,940
短期借入金	100,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	331,955	297,667
1年内償還予定の社債	7,100	7,100
未払金	92,274	62,244
未払法人税等	27,211	12,775
賞与引当金	8,197	19,000
その他	239,516	210,262
流動負債合計	965,320	1,051,989
固定負債		
社債	28,700	25,150
長期借入金	595,214	759,530
リース債務	38,492	33,995
退職給付に係る負債	52,623	55,523
その他	11,869	13,505
固定負債合計	726,900	887,703
負債合計	1,692,221	1,939,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	463,398	419,998
自己株式	△228,633	△228,633
株主資本合計	590,060	546,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	1
その他の包括利益累計額合計	13	1
非支配株主持分	-	-
純資産合計	590,073	546,661
負債純資産合計	2,282,295	2,486,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)
売上高	2,768,492	2,953,770
売上原価	2,249,751	2,478,895
売上総利益	518,740	474,875
販売費及び一般管理費	497,859	493,160
営業利益又は営業損失(△)	20,880	△18,285
営業外収益		
受取利息及び配当金	156	31
受取賃貸料	1,058	1,261
保険返戻金	4,931	1,700
為替差益	2,927	1,940
その他	8,366	7,143
営業外収益合計	17,440	12,077
営業外費用		
支払利息	7,620	5,673
その他	7,508	263
営業外費用合計	15,128	5,936
経常利益又は経常損失(△)	23,192	△12,144
特別利益		
新株予約権戻入益	5,274	-
特別利益合計	5,274	-
特別損失		
固定資産除売却損	1,600	98
リース解約損	2,850	-
特別損失合計	4,450	98
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	24,016	△12,242
法人税、住民税及び事業税	14,956	8,133
法人税等調整額	2,177	△5,886
法人税等合計	17,134	2,247
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,882	△14,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	6,882	△14,489

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,882	△14,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	△12
その他の包括利益合計	12	△12
四半期包括利益	6,894	△14,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,894	△14,501
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	24,016	△12,242
減価償却費	25,269	24,102
新株予約権戻入益	△5,274	-
のれん償却額	10,109	5,313
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,513	△120,260
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,285	10,802
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,347	2,899
受取利息及び受取配当金	△156	△31
受取賃貸料	△1,058	△1,261
保険返戻金	△4,931	△1,700
支払利息	7,620	5,673
固定資産除売却損益(△は益)	1,600	98
売上債権の増減額(△は増加)	△135,173	64,901
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,508	△20,101
仕入債務の増減額(△は減少)	142,303	113,874
その他	9,372	△15,248
小計	68,309	56,819
利息及び配当金の受取額	158	14
賃貸料の受取額	1,058	1,261
利息の支払額	△7,120	△5,828
法人税等の支払額	△23,267	△22,495
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,138	29,771
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△16,651	-
貸付金の回収による収入	15,763	188
有形及び無形固定資産の取得による支出	△14,231	△33,222
保険積立金の積立による支出	△17,459	△17,459
差入保証金の差入による支出	△2,085	△3,394
差入保証金の回収による収入	6,816	3,520
その他	4,931	1,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,916	△48,665
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	342,000	70,000
長期借入れによる収入	-	435,000
長期借入金の返済による支出	△185,969	△341,972
社債の償還による支出	△3,550	△3,550
配当金の支払額	-	△28,791
その他	△11,791	△10,178
財務活動によるキャッシュ・フロー	140,689	120,507
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	156,910	101,613
現金及び現金同等物の期首残高	940,634	772,659
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	385
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,097,545	874,658

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)

1. 配当金支払額

無配のため、該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年9月27日 定時株主総会	普通株式	28,791	7.11	2018年6月30日	2018年9月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第2四半期連結会計期間より、非連結子会社でありました株式会社アグリフラワーにつきましては、重要性
が増したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会
計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル装 花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,619,583	779,132	177,563	2,576,279	192,212	—	2,768,492
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,794	421,545	2,009	426,349	2,261	△428,610	—
計	1,622,377	1,200,677	179,573	3,002,628	194,474	△428,610	2,768,492
セグメント利益 又は損失(△)	262,672	13,966	502	277,141	△30,292	△225,968	20,880

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業並びに就労継続支援事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△225,968千円には、セグメント間取引消去27,928千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△253,896千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル装 花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,640,023	923,090	173,960	2,737,074	216,695	—	2,953,770
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,972	432,064	1,281	436,318	9,437	△445,756	—
計	1,642,996	1,355,154	175,242	3,173,393	226,133	△445,756	2,953,770
セグメント利益 又は損失(△)	214,582	6,472	2,149	223,203	△19,041	△222,447	△18,285

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△222,447千円には、セグメント間取引消去20,669千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△243,116千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。